

大山町 横断歩道橋長寿命化修繕計画

令和5年 3月

大山町 建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

大山町が管理する横断歩道橋は、平成2年（1990年）に建設されたJR西日本を跨ぐ歩道橋であり、重要な役割を担っており今後経年により横断歩道橋の健全性が損なわれ、修繕費が増大していくことが予想されます。

これら損傷を受けた横断歩道橋に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大することが懸念される。

このような背景から、長寿命化修繕計画を策定し、従来の事後的な修繕から予防的な修繕へと転換を図り、横断歩道橋の長寿命化並びに横断歩道橋の修繕に係る費用の縮減を図りつつ、道路の安全性・信頼性を確保します。

2) 目的

このような背景から、より計画的な横断歩道橋の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで大山町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の持続的な安全性の確保を図るため橋梁長寿命化修繕計画を策定する。計画期間は5年間とし、定期点検によって新たに損傷が発見されるため、点検結果に基づき5年毎に見直し（フォローアップ）を行う。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	市道	合計
全管理橋梁数	0	0	1	1
うち計画の対象橋梁数	0	0	1	1
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち平成31年度計画策定橋梁数	0	0	1	1

長寿命化修繕計画の対象：

- ・横断歩道橋（みどり区歩道橋）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的な方針

「横断歩道橋定期点検要領」（平成31年2月国土交通省道路局）に基づいて定期的（5年毎）に点検を実施し、損傷を早期に把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

横断歩道橋を良好な状態を保つため、日常的な維持管理として、パトロール・清掃などの実施を徹底する。

4. 個別の施設の状況

資料Ⅰに示す。

5. 対象横断歩道橋の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針をもとに、的確な時期に必要な補修（劣化が顕在化する前の計画的、予防的処置）を行うことでトータル的な維持管理コストの縮減が可能になるような横断歩道橋の長寿命化を目指します。

6. 対策優先順位の決定

1) 対策優先順位
対策優先順位は、定期点検結果および、損傷の劣化予測に基づく【損傷度】と、横断歩道橋の【重要度】により、右表に示す順位となる。

表 対策優先順位

		重要度			損傷 具合
		高	中	低	
損 傷 度	高	1	2	3	悪 ↑ ↓ 良
	中	4	5	6	
	低	7	8	9	

2) 損傷度
損傷度は、定期点検の結果をもとに劣化予測を行い、損傷具合により判断する。

3) 重要度
対策順位決定のため、橋毎の重要度を設定する。

- ・ 国道9号またはJRを跨ぐ橋は重要度高とする。

7. 計画期間内の修繕内容・時期

資料Ⅱに示す。

8. 各横断歩道橋の対策内容と対策費用

資料Ⅲに示す。

9. 横断歩道橋長寿命化修繕計画における短期的な目標

- 新技術の活用
2巡目の定期点検からの歩道橋で新技術の活用を検討する。
特に1巡目の定期点検で橋梁点検車及び高所作業車を使用した橋梁については、新技術の活用を重点的に検討し、コストの縮減を目指す。
修繕工事においても、すべての横断歩道橋で設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行う。
- 費用の縮減について
比較的高い歩道橋の点検について、ドローンや光波測量器による近接目視など積極的に活用を検討することで省力化を図り、コストの縮減を目指すものとする。
- 集約化・撤去について
利用頻度や健全性、代替路線の有無等を確認のうえ、集約可能な対象歩道橋を検討する。
さらに、歩道橋の健全性に大きな問題が生じた際には、撤去も含めた検討を行う。

10. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署 大山町 建設課 tel : 0859-53-3186

【資料Ⅰ】橋梁点検の結果

凡例: 供用年推定

No	橋梁名	路線名称	橋長 (m)	供用年	点検年	健全度	調査結果						総合評価指標		
							【上部桁構造】	【上部横桁構造】	【上部床版構造】	下部構造	支承部	その他	耐荷性	災害抵抗性	走行安定性
146	みどり区歩道橋	みどり区線	75.40	1990	2017	Ⅲ	腐食Ⅲ	腐食Ⅲ	腐食Ⅲ	腐食Ⅲ	腐食Ⅲ	腐食Ⅲ	-	-	-
													-	-	-

【資料Ⅱ】計画期間内の修繕内容・時期

凡例: ↔ 対策を実施すべき時期を示す。

橋梁番号	橋梁名	道路種別	路線名	橋長 (m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	健全度	対策の内容・時期				
									R2	R3	R4	R5	R6
146	みどり区歩道橋	町道	みどり区線	75.4	1990	30	H29	Ⅲ			○		↔
											主部材:再塗装&足場工等		

【資料Ⅲ】各橋梁の対策内容と対策費用

No. 146_みどり区歩道橋

対策年	橋梁名	径間/ 躯体番号	部材種別	工法	事業費(千円)	事業費内訳(千円)			
						直接工事費	共通仮設費	現場管理費	一般管理費
2020	みどり区歩道橋	1~4	主部材	再塗装&足場工	13,184	5,160	1,487	4,261	2,276